

くろかみ学園すみよしの里



十月七日、くろかみ学園すみよしの里にて秋まつりを開催しました。本来であれば、地域の皆様をお招きして「よつてみん祭きてみん祭」を実施したかったのですが、コロナ禍ということもあり、残念ながら今年度は自粛で、施設内で実施することになりました。しかし、利用者の元気がいっぱいダンスや歌のステージ発表で、テーマの通り「コロナに打ち勝つ」笑顔あふれるイベントとなりました。また、すみよしの里で栽培・収穫した芋を使ったふかし芋、職員の愛情たっぷりの豚汁等、屋台もたくさん出て秋の味覚も満喫することができました。



くろかみ学園すみよしの里



十二月五日、毎年恒例のもちつき会を実施しました。利用者様は、石臼や杵の肌触りや重さに驚きながらも、「よいしょ！」の声と共に、力強くもちをついておられました。今回は特に『無病息災や、一年を幸せにすごせるように』との思いを強く願うもちつき会となりました。つきたてのおもちの味に皆さん大満足な様子。「おいしい！」や「おかわり！」の声が響き渡っていました。



「にこいほっと」報告

入浴時間が遅くなっていた M さん。これまで消灯時間の 21:00 を過ぎてしまうことも度々ありました。そこで、大好きなカラオケを入浴後の楽しみとして取り入れたところ、笑顔でお風呂に行くことが出来るようになりました。今では、時間になると「OOさん、お風呂〜♪」と自ら職員に伝え、着替えの準備も定着された M さんを見て職員も嬉しくなりました。

すみよしの里 生活支援員 K

災害派遣

今年度、佐賀県では大規模災害時に避難所等で高齢者や障がい者等の、配慮が必要な人を支援する「災害派遣福祉チーム」(佐賀 DCAT (ディーキャット)) が発足しました。私たちの法人からも、相談支援専門員や介護福祉士の資格を持つ職員三名が登録しています。今後も研修を重ね、災害派遣に備えます。



児童発達支援センター



今年度より県の委託事業として、ペアレントプログラムに取り組んでいます。ペアレントプログラムは、楽しい子育て、仲間づくりをしたいと思います。おられる保護者様を対象にしています。全六回のグループ・プログラムでは、褒める、認める子育てをテーマに、職員も一緒に学んでいきます。センターでは、今後も継続して家族支援にも取り組んでいきたいと思っています。

ペアレントプログラムの目標

ポイントは 行動で考える

キーワードは ほめる 対応

シェアしよう 仲間づくり



児童発達支援センター



十月二十八日、あさひこども園様にて、合同勉強会を実施させていただきました。子どもたちの育ちに関わる職員同士が、質疑応答やグループワークにて学びを深め、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。センターでは、今後も地域の関係機関と連携し、子どもたちに寄り添った支援、安心して過ごせる環境づくりに努めていきたいと思っています。



環境整備

今般、国の第二次補正予算にて成立した新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業交付金を頂き、各事業所にてコロナ対策の環境整備を行いました。今後も、法人全体で継続して感染症対策に取り組んでいきます。

